

**Family list**

1 family member for: JP53151007U  
Derived from 1 application

1 No title available

Inventor:

EC:

Publication Info: JP53151007U U - 1978-11-28

Applicant:

IPC: B61K7/20; B61K7/00; E01B25/22 (+4)

Data supplied from the *esp@cenet* database - Worldwide



(5000円)

# 実用新案登録願

昭和53年4月20日

特許庁長官 殿

1. 考案の名称

シヤリカフツカハシヤ  
車両脱着防止用ストッパ装置

2. 考案者

神奈川県横浜市中区西郷町714

山田 正 男

3. 実用新案

登録出願人

神奈川県横浜市中区西郷町二番地

399 日産自動車株式会社

代表者 岩 越 忠 雄

4. 代理人

東京都大田区山王2丁目1番8号  
山王アーバンライフ 317号・318号  
〒143 電話 03(775)5391(代)

6169 弁理士 石 戸 元

5. 添付書類の目録

- (1) 明 細 書
- (2) 図 面
- (3) 委 任 状
- (4)

- 1 通
- 1 通
- 1 通
- 通

方 式 査



52 035649 53-151007

## 明 細 書

### 1. 考案の名称

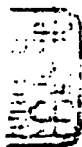
車両脱落防止用ストッパ装置

### 2 実用新案登録請求の範囲

通常は移動レールと幹線レールとが連続し車両が走行可能で、車両が移動レール上に停止し該移動レールが幹線レールと分離して下降すると所定の作業が行なえるようにした搬送システムにおいて、移動レールに設けられ一方向への回転モーメントが他方向への回転モーメントより大きくなるよう構成した回転可能なレバーおよび該レバーの一方向への回転を所定の値に規制するピンと、幹線レールに固設された突起とから成り、移動レール下降時は前記レバーは前記ピンに当接した状態で車両の脱落を防止し、通常は前記レバーが前記突起により前記一方向とは逆の方向に回転し移動レールと幹線レールを連続にすることを特徴とする車両脱落防止用ストッパ装置。

### 3 考案の詳細な説明

本考案は、脱落防止用ストッパ装置、特に車



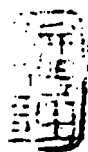
53-151007

両がレールから脱落することを防止するストツパー装置に関する。

第1図、第2図は本考案の適用される搬送システムを示す。通常は第1図に示すごとく、移動レール1が幹線レール2, 2と連続している。車両3が移動レール1の位置にくると、図示しないドロップリフターが作動して移動レール1は車両3を載せたまま幹線レール2, 2と分離して下降する。(第2図参照) 第2図の状態で所定の作業(例えば荷物の積みおろし)がおこなわれ、作業終了後ドロップリフターにより移動レール1及び車両3は第1図に示す位置に戻る。

かかる構造のものにあつては、移動レール1及び車両3が第2図に示す位置にある時に、車両3が右又は左に移動してレール1から脱落することのないようストツパーを設ける必要がある。又そのストツパーは、移動レール1及び車両3が第1図に示す位置にある時には、車両3がレール1, 2間を移動できるよう、非作動となる必要がある。

このためのストツパーとして、従来種々のもの



が提案されているが、構造が複雑であつたり、作動が不確実であつたりする欠点を有していた。

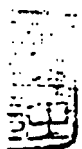
本考案は上記欠点を解消するためになされたもので、構造簡単でかつ作動の確実なストッパ装置を提供せんとするものである。

以下図（第3、4、5図）に基づき本考案を説明する。

移動レール1と幹線レール2のつき目には次のような本考案車両脱着防止用ストッパ装置が設けられている。つまり移動レール1にボルト4で回動可能に取付けられたレバー6、幹線レール2に固定した突起7、移動レール1に固定され、レバー6が一定以上回動しないように規制する係止ピン5よりなつている。レバー6は、左側の腕6aが右側の腕6bより重く作られており左右で回転モーメントが異なつている。

なお8は車輪である。

しかして第3図に示すように移動レール1が上昇して幹線レール2と同じ高さにあるときは、レバー6は突起7で時計方向に押されており車両の



走行には影響がない。移動レール1が下降すると第4図に示すようにレバー6は腕6aの回転モーメントが腕6bの回転モーメントより大きいため反時計方向に回転して係止ピン5に当つて止まる。この時腕6bは移動レール上に出ており移動レール上に停止した車両のストッパーとなる。

以上述べたように本考案ストッパー装置はばね等を必要とせず極めて構造簡単でかつ確実に作動するものである。

#### 4 図面の簡単な説明

第1図、第2図は本考案の適用される搬送システムを示す説明図、第3図、第4図は本考案装置の実施例を示す説明図、第5図は第4図のA-A断面図である。

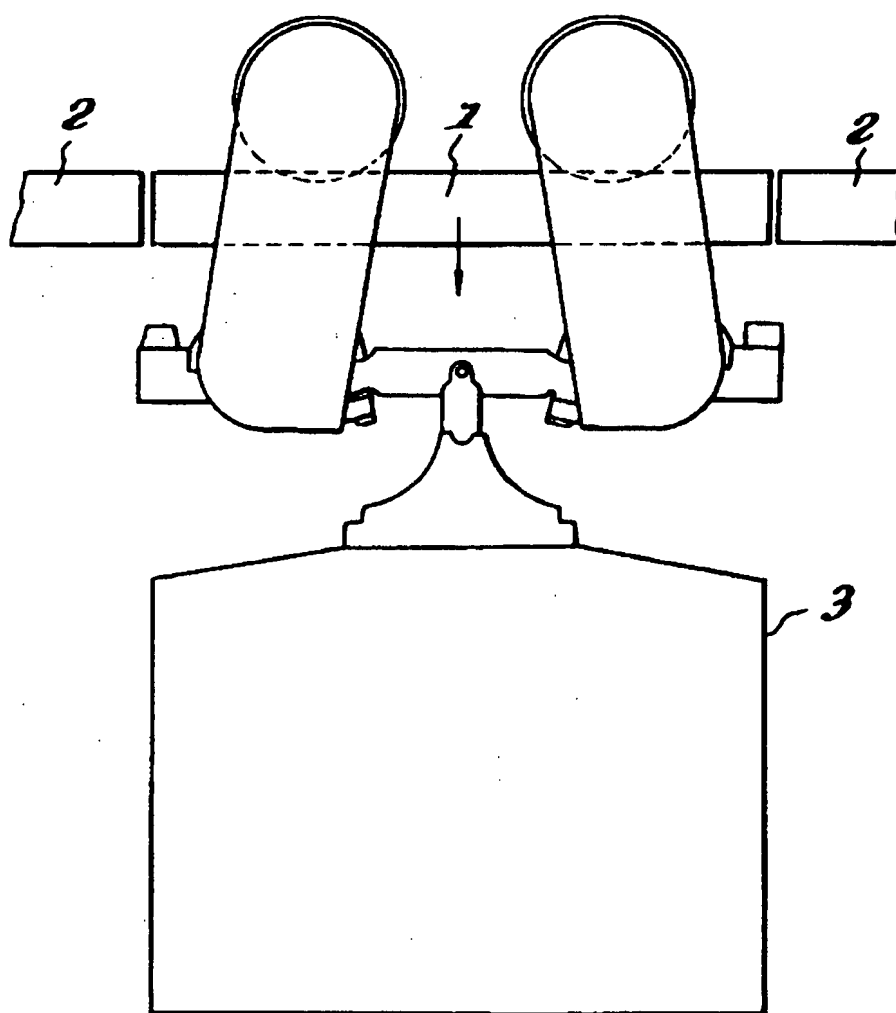
1…移動レール、2…幹線レール、3…車両、4…ボルト、5…係止ピン、6…レバー、6a、6b…腕、7…突起。

10連八井雄士

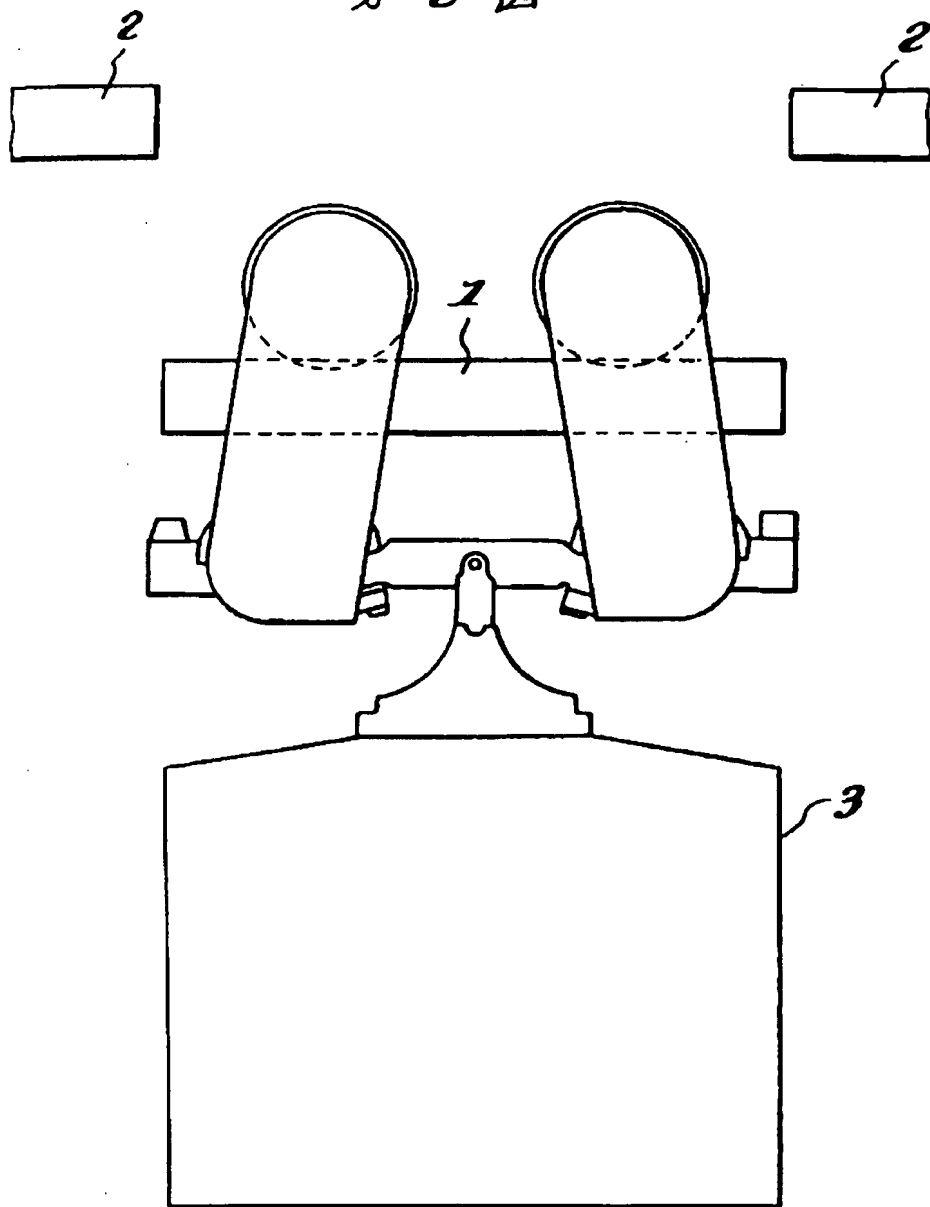
石 戸

元

第 1 図

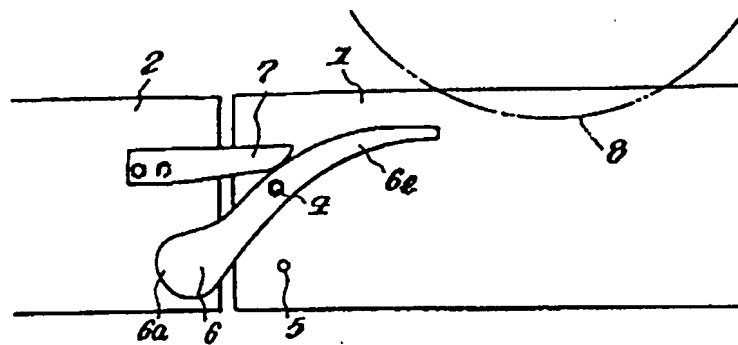


第 2 図

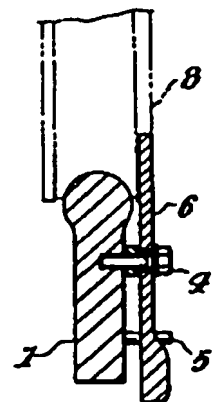




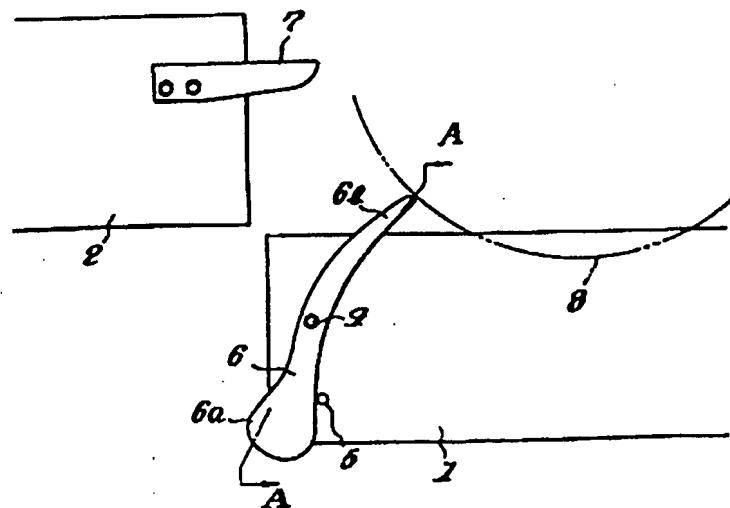
第3図



第5図



第2図



151007  $\frac{3}{3}$